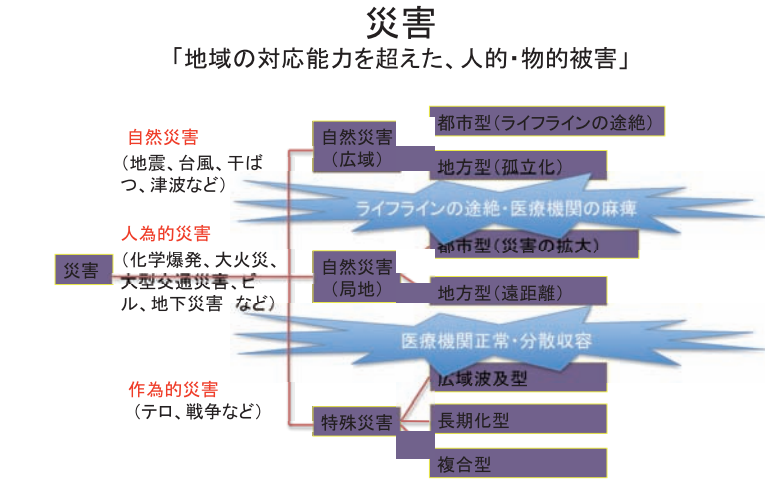


図 1

災害サイクルと超急性期支援



災害の定義

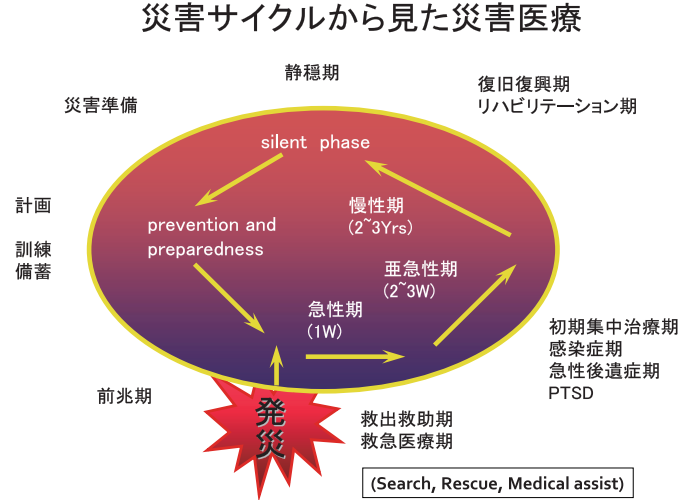
災害対策基本法第 2 条では、①暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火その他の異常な自然現象、または大規模な火事もしくは爆発②放射性物質の大量の放出、多数の者の遭難を伴う船舶の沈没その他大規模な事故——と定義される。

一方、医学や心理学、社会学、経済学など専門性によっても定義は異なり、心の緊張や心身の損傷、大規模な経済的な破綻を生じる環境の変化や、戦争・紛争の結果生じた状況と定義されている。また S.W. Gunn は、人と環境との生態学的な関係における広範な破壊の結果、被災社会がそれと対応するのに非常な努力を要し、被災地域以外からの援助を必要とするほどの規模で生じた深刻かつ急激な出来事と定義している。

災害の分類

災害は被災地域の対応能力を遙かに超えた事態、大量の医療需要の発生（大量かつ一斉に発生する被災者）と医療側の能力低下（病院崩壊・医療従事者も被災者など）を意味する。また、自然災害、人為的災害、作為的災害（特殊災害）とに分類できるが（図 1）、ひとたび大型の災害が発生すると被災地内では医療施設の崩壊や医療資源の不足・劣化、救急システムの低下、交通手段の消失により、“本来なら受けられた医療行為”が受けられなくなる事態も発生する。

図 2



災害を理解する

災害時医療支援における薬剤師 その 1

数の人が出入りし、混乱が助長される。大規模地震等では患者・職員、実習生など全ての人の避難・誘導・安全管理が必要になる。

個々の災害でも病院・薬局機能が日常と同様に維持されている場合、部分的に維持されている場合、全く失われた場合がある。この病院・薬局機能はライフラインの被災状況に大きく影響される。仮に病院・薬局機能が部分的に維持されていたとしても、次に人員確保の問題が浮上する。

現在、この超急性期の医療支援のため、災害派遣医療チーム D M A T (disaster medical assistance team) が組織されているが、薬剤師会には残念ながら、このような支援システムはない。ただし、全国で 190 人余りの薬剤師が参加している。

薬剤師の役割は救援物資（医薬品、衛生材料、食料等）の選択と調達、災害の種類と搬送手段(空中輸送、陸路輸送)、コールドチェーン等救援物資の保管需要に合わせた保管庫、盗難、腐敗等を考え提案すること。

医療チーム支援としては、処方支援・医薬品の識別・代替医薬品の選択、それに伴う服薬説明等を通じた安全・適正使用の確保等の支援を行わなければならない。

今後、この超急性期の被災地域内の薬剤師（病院・薬局）支援として、人的支援システムが求められている。

これは脳血管障害や心筋梗塞のような急性疾患、糖尿病や高血圧など慢性疾患でも同じこと。

災害サイクル

災害は発生直後だけでなく、数週間から数カ月、あるいは数年と長期にわたり、個人のみならず集団の生活に影響を及ぼし、健康障害をもたらすことを理解する必要がある。

緊急救援医療活動を必要とする大規模自然災害は突然に発生し、その衝撃的な状況の中で救出活動が行われ急性期、亜急性期、慢性期を経て復興し、静穏な時期に戻る。この状況変化を災害サイクルと呼ぶ（図 2）。時期に応じ必要な医療、人々の生活や心身の状況は、災害サイクルに応じ変化する。

超急性期（3日）

超急性期は①限られた資源で大多数に最善を尽くす②救命の可能性の高い傷病者を優先する③援護を要するグループ（子供、妊娠中や育児中の女性、老人、病人・障害者）を優先すること。

自然災害・人為的災害により病院・薬局に様々な障害が発生する可能性があり、予め対策を立てておく必要がある。すなわち、自然災害では建物自体が損壊、地階や低層階の水没、火災などの発生により、電気・ガス・水道・通信などライフラインも途絶える。病院・薬局内に保管された廃棄物や燃料、有毒物質、危険物の漏出なども起こり得る。

災害時は受診する多数の患者のみならず、安否を気遣う家族や知人、消防や警察、他機関の関係者など、パニックになった不特定多



私たちと一緒に、
未来を描いてみませんか！



<http://www.mikiblog.com/tabeshinbun/>

<http://www.miki.ne.jp>

株式会社 メディカルファーマシー
人材開発部 saiyou@miki.ne.jp

本社：〒162-0056
設立/昭和54年2月

東京都新宿区若松町9-12 KSビル 2F TEL 03-5368-2011
資本金/5,000万円 売上高/114億円 従業員数/250名(薬剤師167名)



人と人とのコミュニケーションを育みたい。
そしてそれが大きな幹(ミキ)から伸びる枝葉のように、
未来に向かって広がってほしい。それが私たちの希いです。